愛　知

名古屋ウィメンズマラソン 2018　救護・ケア

平成 30 年 3 月 11 日（日）、スタート時の気温 8.3 度、風速 0.3m/秒という好条件のなか、「名古屋ウィメンズマラソン 2018」が開催された。

例年どおり中日新聞社事業局スポーツ事業部からの依頼で、（公社）愛知県柔道整復師会の会員 14 名と名古屋リゾート&スポーツ専門学校の女子学生 6 名、米田柔整専門学校の女子学生 12 名と引率教員 2 名、合わせて 34 名が午前 8 時から順次集合し午後 4 時 50 分まで、ナゴヤドームに隣接する名古屋市東スポーツセンター2 階（第 1 競技場）ランナーズケア会場第 2 ブースにて救護ケア活動を行った。

午前 8 時 45 分、ベッド 8 台をはじめ救護ケアに使用する資材を搬入し、活動の準備を開始。10 時 45 分に参加者全員を一堂に集め本会森川伸治会長は、世界最大の女子マラソン大会の早朝から長時間に及ぶ救護ケア活動への協力に対して謝意を示し、「学生にとってよい経験となると思う。いろいろな意味で多くを学んでいただき、将来に結びつけて欲しい」と挨拶した。

その後、柔整手技やストレッチングの方法、救護バッグ・担架・三角巾の使い方などについて事前説明や実技指導が行われた。

午後 0 時 55 分に両下腿三頭筋の痛みを主訴とする女性ランナーを手始めに、去年より 36 名多い 176 名の男女ランナーに対して、柔整手技、ストレッチング、アイシング、テーピング等を学生に指導しながら実施した。

（公益社団法人愛知県柔道整復師会　広報部）